

群馬県繊維工業試験場の拡充並びに 敷地内の再整備・有効活用について（改訂継続）

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の公的施設として群馬県民の誇りであり、また、研究開発、技術支援、人材育成・情報提供、産地課題への対応など、群馬県の繊維業界を全面的にサポートする様々な施策を積極的に展開している機関であります。

今年4月からは群馬県立産業技術センターと運営体制が統合され、利用企業への技術支援・研究開発の高度化、利用者の利便性の向上が図られました。

また、同試験場の中期ビジョン（令和2～4年度）には研究開発、技術支援、商品化支援、情報提供等についての基本構想・計画、目標が示されており、このビジョンに基づき各種研究開発、利用者へのきめ細かな対応を実施していただいております。

繊維業界では閉塞的な状況が続いておりますが、こうした状況を打破し、桐生市の繊維関連企業が国内市場を拡大し、海外市場を取込むためには、革新的技術による新たな価値の創出や、地域のブランド化が課題となります。

この課題の解決のためにも同試験場の存在意義は年々高められておりますので、引き続いたの最新機器導入による設備の整備、研究員等の人員配置拡充など、更なる機能充実を図るための積極的かつ充実した支援体制が取られるよう、群馬県に呼びかけていただくことを切望いたします。

また、敷地内には、昭和37年に開設された群馬地方発明センターの建物が残存しておりますが、その役割を終えた現在は廃墟化し、周辺の景観をも損ねております。

つきましては、これら施設を取り壊すなどの再整備、今後の有効活用についても是非ともご検討いただきますよう、併せて要望いたします。

桐生市からの回答

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の繊維に特化した公設試験場であり、繊維関連の中小企業が多い本市にとって、極めて重要な施設であると認識しております。市では、これまでも同試験場と市内の繊維関連企業との連携促進を図りながら、同試験場が行う研究開発や技術支援、人材養成等の取組に対して必要な支援を行っているところであり、こうした取組が同試験場の存在意義を高める効果もあると考えております。

県におきましても、繊維関連企業の成長の原動力となる新製品や新技術の開発を促進するため、平成29年度には、さまざまな関係者の連携・交流を通じ、人材・アイデア・技術等のリソースが相互に作用し新たな価値を生む「オープンイノベーション」の拠点となるための施設整備を実施しました。

さらに、令和3年度の群馬県立産業技術センターと繊維工業試験場の統合により、伝統的織物研究や高機能繊維開発の拠点として、企業への技術支援・研究開発の高度化、効率化が強化されましたので、市といたしましては、今後も、同試験場と連携を密にしながら、繊維産業の振興を図るとともに、皆様の御要望等をお聴きしながら、県に対し要望し

てまいりたいと考えております。

また、敷地内の未使用施設については、施設の一部を倉庫として利用している各部署との協議により、保管品の移動について協議を開始したところですので、関係機関等と調整を図りながら再整備・有効活用に向け、引き続き検討してまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 産業経済部商工振興課工業労政担当